

**法第 43 条第 1 項許可申請書作成時の留意点**  
**(法第 34 条第 2 号 観光資源の利用上必要な建築物)**

図書の種類	明示すべき事項	備考
申請書	申請文の〔 〕内の該当するものを□で囲む。	土地の一部を申請地とすることは、できません。(例：○番の一部)
	1 欄：敷地全体の実測面積（小数第 3 位を切り捨て、第 2 位までを記載する。筆ごとの記載は不要）	
	2 欄：予定建築物の用途（具体的用途）	
	3 欄：新築の場合は、斜線を記載する。	
	4 欄：法第 34 条第 2 号 観光資源の利用上必要な建築物	
建築理由書 裏付け資料	5 欄：農地転用許可、水路占用許可、道路承認工事等の申請状況等を記載する。(無ければ斜線を記載する。)	居住施設は不可
	施設を必要とする理由（施設と観光資源との関連性、施設の必要性、申請者の現在の状況、開業に至る経緯等）、申請地を選定した理由（申請地と観光資源との距離、申請地付近の状況、申請地の立地条件、営業の見通し等）、周辺の環境及び景観に配慮した点を記述する。記名、市長宛。	
	申請内容が田原市観光開発計画（区域・利用目的・用途）に適合していることを田原市街づくり推進課に確認した旨（担当者、確認日を明記）を記述する。	
	観光農園に付属する建築物の場合は、運用基準第 2 項第 1 号、第 2 号、第 4 項の適合状況を記述する。 理由を裏付ける資料を添付する。	
事業計画書 裏付け資料	施設の名称、規模（敷地面積・延べ面積）、事業内容、開店予定時期、取扱品目・数量、取引先、経営者及び従業員数、操業時間、開業までの資金計画（運転資金を含む）、収支計画を記述する。記名。	
	事業計画が具体的であることを裏付ける資料を添付する。 (例:飲食店の場合のメニュー表等)	
資格証明書	営業に必要な免許等の写し（原本と相違がないことを明記する。）を添付する。	免許の必要な店舗等の場合は、添付する。(例：食品衛生責任者)
取引証明書	申請者宛とし、申請地の地番、店舗名称、取引品目及び数量、証明日付を記載する。	
農業者証明等	観光農園経営者の農家基本台帳及び農地台帳の写し（農業委員会の原本証明があるもの）を添付する。	観光農園及び観光農園に付属する建築物に限る。
土地の登記事項 証明書	正本には法務局の原本を添付する。	
	仮換地又は一時利用地の場合は、その証明書を添付する。	
	観光農園に付属する建築物の場合は、当該観光農園の存する土地の登記事項証明書を添付する。(登記情報サービス可)	

住民票	申請者が個人の場合は、添付する。	
法人の登記事項証明書	申請者が法人の場合は、添付する。	目的欄に申請に係る事業の記載があること
名寄帳の写し	田原市内の所有地のみ添付する。(原本と相違がないことを明記する。)	申請者のものを添付する。
所有地申告書	名寄帳の写しに基づき所有地一覧表を添付する。	位置図が複数枚となる場合は、各々の位置関係がわかるように全体図を添付する。
	位置図を添付する。(複数枚となる場合は、各々の位置関係がわかるように)	
	所有者、地番、地目、面積、市街化区域又は市街化調整区域の別、土地の利用状況を記述する。	
付近見取図	図面名称、方位、縮尺、申請地(赤枠)、市街化区域と市街化調整区域の名称及び区域界(橙色)、排水先の河川までの経路(黄緑)、放流先の河川等の名称を記載する。	都市計画図(1/2,500)縮小・拡大コピーをしないこと。
	観光農園に付属する建築物の場合は、観光計画に定める観光開発計画区域、一般国道の位置又は申請地が観光農園の敷地から100m以内の土地であることのいずれかを明示する。	都市計画図の作成年月日を明示 現地調査年月日を明示(調査者を記名する。)
土地の公図(写し)	図面名称、方位、縮尺、申請地(赤枠)、排水河川までの経路(黄緑色)を記載する。	縮小・拡大コピーをしないこと
	法務局の原本(副本は当該原本の写し(原本と相違がないことを明記する。))でも可)を添付する。	
	申請地隣接地が字界等となる場合は、対側の図面を添付し、合成図を参考として添付する。(申請地以外は、登記情報サービス可)	
	観光農園に付属する建築物の場合は、当該観光農園の敷地の図面を添付する。(登記情報サービス可)	
実測図	図面名称、縮尺、作成者を記載する。	図上求積可
	法務局の地積測量図の写しである場合は、原本と相違がないことを明記し、原本との照合者を記載する。	
	全体面積の小数第3位を切り捨てして算出する。	

敷地現況図 (敷地内配置図)	図面名称、方位、縮尺、申請地（赤枠）、敷地の境界・寸法、道路の建築基準法上の種類・幅員（1路線につき2ヶ所以上明示し、実測値である旨記載）、敷地・隣地・道路のレベル（造成の有無が確認できるよう記載）（造成が無い場合は、その旨を記載）、建築物の位置（青枠）・用途、出入口位置、がけ及び擁壁の位置・構造・法面は安定勾配以下であること（もしくは県告示第899号に基づく安全性の確認）、排水施設的位置・最終枘の位置・種類・排水方向・敷地内雨水排水（黄緑色）・放流先の名称、占用許可・承認工事等の区域の明示・許可日及び番号を記載する。	1/200 以上（三角スケールで測定できない縮尺は、不可とします。）
	駐車場が必要な場合は、配置計画（来客用・従業員用等の利用の別、利用別台数を記載）を記載する。	
	ホテル、旅館及び保養所は、緑地及び緑地の敷地面積に対する割合を記載する。	
排水施設構造図	図面名称、縮尺、最終排水枘及び排水先の構造断面を添付する。	1/50 以上（三角スケールで測定できない縮尺は、不可とします。）
	流出入配管の位置及びサイズ、泥溜めの高さ（150mm 以上）を記載する。	
	必要に応じてグリーストラップを記載する。	
建物各階平面図	図面名称、縮尺、面積表、主要寸法、各室の具体の用途を記述する。併用用途のある場合は、赤枠で明示する。（物置等付属建築物を含む。）	1/200 以上（三角スケールで測定できない縮尺は、不可とします。）
	設計者の記名（建築士法による。）	
建物立面図	図面名称、縮尺、高さを記載する。2 面以上（物置等付属建築物を含む。）	1/200 以上（三角スケールで測定できない縮尺は、不可とします。）
	設計者の記名（建築士法による。）	
委任状	土地の所在、主要用途、工事種別、委任事項、委任した日付、申請者を記載する。	申請者氏名は、署名でなくとも可
誓約書	日付、市長宛、申請者、土地の所在、地積及び建物用途、並びに「転売」、「賃貸」及び「用途変更」しない旨、並びに「自己の業務の用に供する」旨を記述する。	申請者氏名は、署名でなくとも可
権利関係者の同意書	土地の所在、面積、地目、権利の種類、同意日付、権利者の住所・氏名を記載する。	所有権者のものを添付する。 同意の相手は申請者
排水承諾書	土地の所在、面積、用途、排水先の管理責任者の承諾。隣地等をまたぐ場合は、土地所有者がわかる資料を添付する。	
その他	技術基準（都市計画法施行令第26条、第28条及び第29条の規定）に適合していることを確認すること。	